

令和7年度 江戸川区立松江小学校 人権教育年間指導計画（第6学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照の上作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	自己及び他者の個性の理解と尊重 学級目標に人権教育のねらいを位置づける			望ましい人間関係の確立・コミュニケーション能力				自覚と責任・感謝の気持ちとこれからの夢 児童相互の関係を把握（通年）				
各教科・読書科	お互いの考えの良さを認め合っていく活動をすすめる。（国語） 自然や生命を愛する気持ちをもつ。（理科）				社会に見られる課題を把握し、自分がどのように関わっていくかを選択・判断する。（社会科） ゲーム学習を通して、互いのよさを認め合う。（体育）							
特別の教科 道徳	「父の言葉」 《親切・思いやり》	「山中伸弥先生の快挙」 《個性の伸長》	「応援団の旗」 《集団生活の充実》	「ひきょうだよ」 《公正公平》	「ひたすらに、自分の心に従って」 《感謝》	「生かされている大切な命」 《生命の尊さ》						
総合的な学習の時間	【1年生を迎える会】1年生に優しく学校生活を送ろうという気持ちをもたせる。		「かがやき防災プロジェクト」防災学習を通して、命の尊さや共助の重要性について学ぶ。（通年）									
特別活動	【ペア学級】異学年交流を通して、下級生を思いやり、仲良く活動する。		【ふれあい集会】お客さんを楽しませるお店の企画・準備・運営をする。		【運動会】特別支援学級の児童と協力して表現・競技を行う。		【校内水泳記録会】自己の目標に向かって努力する。		【体育大会】自己の目標に向かって努力する。 「力をあわせて」（通年） 学級会や係活動を行う。		【卒業式】最高学年になるという自覚をもつ。 【6年生を送る会・卒業を祝う会・卒業式】これまでの学校生活を振り返り、お世話になった方に感謝の気持ちを伝える。	
その他	【挨拶運動】（通年）挨拶を通して、温かい人間関係の基礎を養う。				【個人面談・保護者会・学校公開】家庭との連携をし、児童一人一人の実態を把握する。							
	【鼓笛・校旗・委員会活動】（通年）最高学年として学校のために働く。		【ふれあい月間】いじめ防止		【ふれあい月間】不登校対策		【人権週間】		【ユニセフ募金】世界の子供に関心をもつ。			

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 ◻ =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。